

丸岡観光ボランティアガイド広報誌

お天守だより

創刊号

はじめに

会長 水崎亮博

私たち丸岡観光ボランティアガイド協会は、六年前に今は亡き宮本久先生の呼びかけによって結成されました。会員三十名で毎日誰かが城へ登って訪れる観光客の案内をしています。

ご承知のように丸岡城は現存する十二天守閣の一つであり、近年訪れる観光客が非常に多くなっています。小ぶりながらも均整の取れた古風で優美な姿に訪れる観光客から称賛の声を聴かれています。

ガイドの仕事はお客様に聞かれるままに丸岡城の歴史、構造上の特徴、城下町丸岡の街並みなどを紹介しています。それほど専門的に難しいことをお話しするわけはありません。お客様と一緒に楽しむことに努めています。

お客様から丸岡城を称賛されると自分が褒められたような誇らしい気持ちになります。興味のある人は仲間になつていただきたいと思います。詳しくは、丸岡城管理事務所（☎〇七七六・六六・〇三〇三）までお願いします。

活動内容

事務局長 水野信好

本ガイド協会が発足して二年目ぐらいに、犬山城のガイドの方々が研修で丸岡城に来られたとき伺った話は、活動は十年やらないと軌道にのらないということでした。そんな試行錯誤のなか丸岡城でのガイドのやり方を紹介します。

丸岡城では入口近くにある案内所を拠点に、会員の都合のいい日、時間帯に観光客を待ち受けしてガイドしています。ガイドといってもお声がけだけのときもあります。また、団体客など予約を受けてその時間に合わせたガイドもしています。これは予約が入ると案内所に予約票が貼り出され、それを見て自発的に各会員が担当を決めているものです。

実際のガイドの現場では次はどのような方を案内するのかハラハラドキドキですが、会員皆、汗をかき、恥をかきやっています。

金沢方面研修旅行

副会長 大霜徹夫

七月二十七日、当ボランティアガイド協会の視察研修が行われました。今回は十七名が参加、行き先は隣の石川県で、先ず小松市の興善寺を訪問しま

した。この山門は丸岡城の裏門が移されたもので、住職から経緯も聞けて大変有意義でした。次の金沢城は現地のガイド案内付。百万石の城内はさすがに広大で、重要文化財の石川門から入城、五十間長屋を経て鶴丸倉庫を見学、多種多様な石垣は正に「石垣の博物館」で、一時間の見学ではやはり不足。ただ櫓や門は多くが近年の復元で、歴史の重みは今一つの感でした。最後に近年の丸岡城石瓦を生産している小松市東部の滝ヶ原の石切り場を見学。今も掘られている深いトンネルの採掘現場に全員圧倒されました。



ガイド体験談

台湾の人たち

瀬戸康次郎

ボランティアガイドの醍醐味は、なんとと言っても全国から訪れる人々と話せることです。単なる観光目的の人か

ら、無類の歴史好き、お城好きの人、若い世代からシルバー世代まで、そこそ多種多様です。

先日は、台湾から来た十名ほどの若い男女の団体を、通訳するから案内してほしいと言われ、案内しました。色々ガイド説明しましたが、彼らは熱心に通訳を通じての私の話に聞き入り様々な質問攻めに合い、冷や汗をかくような場面もありましたが、それでも楽しいひと時を過ごせました。

遠くから、丸岡城見たさに訪れる人々に、喜んでいただき、別れ際に「面白かった、有難う。」との言葉を頂くと、汗をかきかきガイドをした事を忘れさせる至福のひと時を迎えるのは最高です。

ボランティアガイドあれこれ

高橋健三

ガイドを初めてようやく、丸岡城の魅力も多少わかりかけてきたこのごろです。昨年、「頑張れ熊本城」と書いた、くまもん入りの立て看板を城の登り口付近に設置していた時、お城見学の男性から「何でこんなところに看板を立ててるのか、古城の風情が台無しになる、すぐに撤去しなさい」とおしかりを受けました。

そこで、看板は城と一緒に映りこま

ないところに移動しました。男性はそれを
見て、それ以上は何も言わずに坂
道を降りていかれました。熊本城復興
への私たちの思いが伝わらなかつたこ
とは残念なことでした。

現在丸岡城を国宝にする運動がなさ
れていますが、なんといっても地元
の盛り上がりが必要であると思います。
市民の皆さまも現存天守の一つである
丸岡城の良さを再認識していただき、
全国へのアピールをお願いいたしま
す。

丸岡に麒麟がくる

松本盛博

丸岡城天守三階で、西方にある長崎
称念寺を紹介しています。丸岡城築城
の二十年程前の一五五六年頃に明智光
秀の居城（明智城：現 岐阜県可児市）
が、齋藤道三の子義龍によって陥落し、
光秀は、妻子を伴い逃亡してきたのが
称念寺です。ここを拠点に約十年間再
起をうかがっていました。一五六三年
にはお玉『後の細川ガラシャ』が誕生
しています。

今年四月十九日に、二〇二〇年のN
HK大河ドラマは光秀が主人公の「麒
麟がくる」と発表されました。麒麟は
中国の神話や伝説に登場する聖なる空
想の動物で、戦乱の世の中に突如現れ

て、民衆を救う救世
獣と云われていま
す。このドラマがこ
こ丸岡の観光の救世
主となることを期待
して、今日も熱の入
ったガイドをしてい
ます。



手話ものがたり

坂本美恵子

ボランティアガイドを始めたきつ
きは、金沢のろう者が手話で観光案内
されているのを知り、「手話で案内がで
きたらろう者の情報保障になるので頑
張ってみよう」でした。

最初は宮本先生に魅了され丸岡城の
ことを一から勉強することから始まり
ました。しかし歴史的な単語を手話で
表現することは難しく、ファイルを作
って単語を指し示す方法を考え付きま
した。せっかく作ったファイルです
が、ろう者に会うことが少なく、あま
り活かせていません。

でも名札の横に貼っている「手話」
の文字を見て「へえ、手話で案内して
頂けるんですね」と感心されたことは
何度かあります。良い宣伝にはなっ
ているのかなと思います。

今は亡き宮本先生からも期待された
ことを胸に、これからも頑張ってい
たいと思います。

感動をありがとう

三村明美

昨年の秋、春江東幼保園からガイド
を依頼されました。事前に園に行き、
石垣・石落し・シヤチホコ・忍者など
の興味付けをしてから当日（平成二十
九年九月二十九日、六十七名来城）を
迎えました。鎧姿の殿様（ガイド仲間）
のサプライズ登場に園児たちは大喜
び！ 天守中の高くて急な階段も、四・
五歳児は全員挑戦し頑張りました。そ
の後、園では忍者ごっこが何ヶ月も続
き、文化祭では全員で大きな城の絵を
描いたり、発表会でも殿や姫、忍者の
踊りや、家族への手紙を発表したそう
です。それらを聞く度にとっても嬉しく、
感謝の気持ちで一杯になりました。



野武士の城

大谷英仙

昨年三月よりガイド協会に入会し、
ガイド活動を実践しています。特に今
年四月、城山の開花をピークに約一か
月間は、午前・午後と多忙を極めまし
た。

丸岡城天守は、日本最古と謳われて
いる通り、初めて天守を観た方は『小
振りでも野武士の立ち姿の様な而も天
守台の石積の荒々しさ』等々絶賛の言
葉を耳にするとガイド冥利に付きま
す。

広場での外観・一筆啓上碑・天守台
外周・石製鯨・天守内各階・三階外観
展望等のそれぞれガイドには、常日頃
より工夫鍛錬に努めて居ます。

丸岡城址へのお客様は、高齢層・中
間層・女性グループ・親睦旅行・一般
団体旅行と多種多様ですが、それぞれ
に適応したガイドを心掛け努力する覚
悟しております。一步一步頑張ってい
きましょう。

編集後記

創刊号です。これからも私
たちの活動内容を市民の皆様にお伝え
していきます。題字は当協会員高橋氏
の奥様友江さんに書いて頂きました。

（文責 渡辺隆）